

高石市教育委員会定例会会議録

(平成 29 年 2 月定例会)

開会及び閉会の年月日時

開 会	平成 29 年 2 月 8 日午後 2 時 59 分
閉 会	平成 29 年 2 月 8 日午後 3 時 39 分

会議に出席した者の職及び氏名

委 員	委 員 長 : 佐 野 慶 子 委員長職務代理者 : 西 中 隆 委 員 : 西 村 陽 子 委 員 : 吉 村 文 一 教 育 長 : 藤 原 一 広
事務局職員	教 育 部 長 : 木 寄 茂 巳 教育部理事兼次長 : 細 越 浩 嗣 教育部次長兼社会教育課長 : 上 田 庸 雄 教育部次長兼こども家庭課長 : 池 治 久 美 子 教育総務課長 : 西 川 浩 二 学校教育課長 : 吉 田 種 司 学校教育課長代理兼人権教育推進室長兼教育センター所長 : 清 水 寛 之 子育て支援課長 : 神 志 那 隆 子育て支援課課長代理 : 小 林 弘 典 社会教育課長代理兼中央公民館館長 : 石 田 俊 彦 社会教育課長代理兼たかいし市民文化会館長 : 田 中 正 博 教育総務課長代理兼総務管理係長 : 山 本 敬 司 教育総務課主事 : 安 岡 佑 美

議題及び議事の要旨及び議決事項

・議案第 1 号 平成 29 年度教育費予算について

教育部長	議案第1号、平成29年度教育費予算の提案理由について説明する。 本案は平成29年度教育費予算について、教育予算の編成に当たり、別紙の内容に基づき予算要求をするものである。 主な内容等については、教育総務課長より説明を行う。
教育総務課長	まず、平成29年度教育予算における教育総務課主管事業等について説明する。 まず、学校園施設整備改修事業として、例年同様、各学校園施設整備修繕に要する経費を計上している。また、加茂幼稚園遊具改修工事事業として、平成31年度からの再編に向けて、29年度、30年度の2カ年にわたる改修を予定している工事のうち、29年度実施分として、園庭の遊具改修に要する経費を計上している。
学校教育課長	続いて、学校教育課より説明する。 幼・小・中学校連携推進について、各中学校区において、幼稚園、小学校、中学校が連携し、育てたい子供像を共有して取り組みを進めているところであり、その事業の補助となっている。 次に、小・中学校英語教育の推進について、小学校の英語学習を支援する非常勤講師の報酬、英語指導助手ALTの派遣委託料、英語能力判定テストの予算となっている。

	<p>学力向上のための支援事業においては、学力向上に係る子供支援のための人材派遣として、府費負担の加配教員に加え、市費での非常勤講師を配置するための予算、ICT機器としてのタブレット端末を各校に導入しているが、タブレット端末を活用した授業を推進するための支援員派遣の予算を考えている。</p> <p>支援教育の充実について、介助員の報酬、学校生活支援ボランティアの報償費、医療的ケアのパート看護師の賃金等となっている。また、今年度より市単費により実施しているインクルーシブ教育システム構築モデル事業についても、引き続き実施したいと考えている。</p> <p>生徒指導の充実については、教育相談を担当する臨床心理士、スクールソーシャルワーカーの報償費等の予算となっている。</p>
<p>社会教育課</p>	<p>続いて、社会教育課より説明する。</p> <p>まず、各項目については、社会教育の分野、スポーツ分野について予算計上をしている。</p> <p>青少年健全育成事業、野外活動事業については、子ども元気広場事業の実施、野外活動センターふるさと村キャンプ場の開設等の費用について、記載のとおり要求をしている。</p> <p>次に、生涯学習の推進として、市民文化祭、郷土史展の開催、埋蔵文化財等の事業の費用、また運動施設の整備等について要求をしている。なお、こちらの生涯学習の推進分野で、スポーツ施設の整備については、平成29年度、高師浜野球場の照明灯の改修工事についても計画しており、その費用を平成29年度予算へ繰り入れ、要求をしている。</p> <p>次に、公民館・体育館事業については、前年度同様の事業についての予算の要求、また市民文化会館の運営については、平成28年12月にウェルカムステーションをオープンし、平成29年度も引き続き、新しい指定管理者による運営を行っていく。その運営について指定管理料の上乗せ部分を市民文化会館費に増やしている。</p> <p>最後に図書館事業についても、昨年度同様の管理運営等についての費用を計上している。</p>
<p>教育総務課長</p>	<p>続いて、4ページから5ページにかけて説明する。先ほどの説明と若干重複する分があるが、主な増減等について説明する。</p> <p>まず、歳入について、款府支出金の府補助金が減少しているのは、エネルギー教育関係備品購入等に充当される原子力エネルギーに関する教育事業費補助金を、29年度は対象事業がないことから計上していないことによるものである。</p> <p>また、款繰入金、基金繰入金、文化・スポーツ国際交流基金繰入金が1,500万円増額しているのは、28年度は各種事業に1,000万円強を充当していたものが、29年度は高師浜野球場照明施設改修工事の財源として2,500万円充当するため、その差である。</p> <p>最後に、一番下の款市債であるが、これは先ほど説明した加茂幼稚園の遊具改修工事にかかる市債である。</p> <p>以上、その総額として、29年度要求額は1億4,155万3,000円。28年度と比較して3,656万円の増となっている。</p> <p>続いて、5ページの歳出であるが、教育総務費の教育指導費は、学力向上に係る支援人材の増員などによる増額である。</p> <p>また、その下の奨学金費の減少は対象者の減少によるものである。</p> <p>次の項、小学校費の学校管理費の減少については、これは28年度当初に学校トイレ改修工事費を計上していたことによるものである。</p> <p>中学校費の学校給食費については、29年度が調理業務委託更新年度となることによる増額である。</p>

	<p>幼稚園費の幼稚園管理費については、加茂幼稚園遊具改修工事の計上による増額である。</p> <p>社会教育費、遺跡等事業費の減少については、28年度の遺物整理業務が多かったことから、29年度は減少したものである。同じく社会教育費、市民文化会館費の増額については、子育てウェルカムステーション実施による指定管理料の増や、アプラたかいし全体共用部の大規模修繕負担金などの増額によるものである。</p> <p>保健体育費の社会体育施設費の増額については、高師浜野球場照明灯改修工事の実施によるものである。</p> <p>以上が主な内容となっている。29年度の要求額は13億5,081万6,000円、28年度と比較すると2億160万8,000円の増となっている。</p> <p>教育予算の概要の説明は以上である。</p>
西村委員	<p>スポーツ施設の野球場の照明灯改修が今回大きな予算がついているが、具体的な内容について、もう少し詳しく教えていただきたい。</p>
社会教育課長	<p>高師浜野球場の照明設備については、今のところ1億7,000万円の総事業費となっている。この事業については、27年度と28年度の石油貯蔵施設立地対策等交付金2カ年の積み立て分と、残りの部分については文スポ基金、また一般財源も充当し、高師浜の照明灯を改修する予定になっている。</p> <p>この高師浜野球場については、大阪府の地域防災計画上の災害時のヘリポートという位置づけになっており、災害時には臨時のヘリポートとして、日々の使用については運動施設として使用を行っていくということになっている。</p> <p>現在のところ、計画の工事内容については、照明灯の電球のLED化、そのLED電球を停電時にも点灯できるように非常用電源の設置、また、それに付随する電気設備の更新を工事内容として予定している。</p>
西村委員	<p>LEDに変えることは、光熱費等維持費の低減にも役立つということか。</p>
社会教育課長	<p>現在、水銀灯を使用したナイター照明になっている。LED化で、一般的には消費電力が下がるので、当然電力が下がるということは電力も一定削減効果があると考えている。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>この3,469万2,000円の計上について、人材派遣、事業改善、タブレットの活用という3つの項目が出ているが、具体的にどこに重点が置かれているのか。</p>
学校教育課長	<p>今回、学びんぐティーチャーなどといい、市費負担の非常勤講師の増員をお願いしている。この非常勤講師について、少人数集中授業等にも活用し、よりわかりやすい授業に取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>また、ICT支援員派遣委託料について、新規で予算要求しているが、こちらはタブレット端末を活用し、タブレット端末の利点を活用し子供たちの学力向上にもつなげていきたいと考えている。</p> <p>そのほか、支援人材として、まなび舎事業報償費も今年度同様やっていきたいと考えており、学校図書館司書を今年度から配置して、学校のほうで活動しているが、学校図書館司書についても今年度同等の人員配置ということで支援人材を配置していきたいと考えている。</p> <p>それぞれ総合的学力向上のために支援人材、また学校のほうについては、各学校で学力向上の取り組みを行っているところ。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>加配教員といっても限界があり、一番大事なことは授業改善だと思うが、それらについての予算配分は、何か考えているのか。</p>
学校教育課長	<p>まず、現在行っているシストという形で指導主事が各学校を回り、各学校の教員の授業の指導を行っている。これは、指導主事がみずから師</p>

	<p>範授業を見せて、このように授業を展開すれば子供たちがわかりやすい授業ができると示し、続けて各担任が実際に行ってみる。それについて指導、助言を行っている。そのために退職校長1名を学力向上支援員として同行し指導に当たっており、授業改善に現在取り組んでいるところである。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>なかなか全員を対象に行うのは難しいと思うが、どのように行っているのか。</p>
教育部理事	<p>全員ではないが、各学校に授業改善の中心になる教員がおり、その中心になるのが2年目、3年目の経験の浅い教員である。この者の授業を改善していかないと授業力が上がらないということで、そこにスポットを当て、指導主事を派遣し師範授業を見せて、授業のポイントを指導しながら年間を通じて授業を見ていくという、形をとっている。</p> <p>さらに、我々も学力向上の中心は授業改善と考えているので、先ほどの予算の中で出てきた小・中連携の中の150万円について、29年度から、取り組みの成果報告会を開催し、ある一定の小・中連携、幼稚園も含めての連携の効果が進んでいるので、今年度は一つの区切りとして、来年度からの50万円の使い方の中で、やはり授業の改善を小・中の連携の中で取り組んでいくということの一つの柱に考えている。</p> <p>50万円の中で、先ほど課長からも説明があったが、我々の指導主事、それから退職校長の指導というのは、身内の指導になるわけで、この中で大学の専門的な先生を入れるという、外部の指導が今後必要だということで、50万円の予算の中で大学の先生の指導、助言を年間を通じて指導を仰ぐような取り組みをして欲しいと4月の年度当初には学校に話をしながら、小・中連携を踏まえた、授業改善に取り組んでいきたいと考えている。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>中学校は教科担任だが、指導主事は、国語、数学、英語等、主要教科については全員いるのか。</p>
教育部理事	<p>市の中で全員がいるかという、いない。</p> <p>例えば、中学校の教科でいうと9教科あり、9人指導主事が中学校の各教科の免許を持っているかというといない。それらについては府と連携しながら補っていくしかないと考えている。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>学力向上ということで、基本的な学力の国語、数学、英語、理科の指導主事はいるのか。</p>
教育部理事	<p>国語がない。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>それは府教委に要請するのか</p>
教育部理事	<p>要請する。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>国語は、一番大事な教科である。退職の校長等、お願いしているのか。</p>
教育部理事	<p>退職の校長の教科についても数学であり、国語の専門的な部分については、府の指導主事等の分野で派遣依頼を行うしかないと考えている。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>依頼したら来てくれるのか。</p>
教育部理事	<p>そのようになっている。</p>
採決	<p>可決。</p>

・議案第2号 平成28年度末及び平成29年度当初の教育委員会事務局職員及び委員会の所管に係る学校その他の教育機関の職員の人事異動について

教育総務課長	平成28年度末及び平成29年度当初の教育委員会事務局職員及び委員会の所管に係る学校その他の教育機関の職員の人事異動について、教育委員会通則第2条第2項の規定に基づき、教育長をして臨時代理をすることについて提案するものである。
採決	可決。

・議案第3号 高石市立公民館運営審議会委員の委嘱について

社会教育課長代理兼中央公民館館長	高石市立公民館運営審議会委員の任期満了に伴い、社会教育法第30条第1項及び高石市立公民館条例第7条に基づき、高石市青少年指導員代表の井上洋之氏と公民館利用者の舛谷千恵氏の両名に再任として委嘱をするものである。任期は平成29年2月9日から平成31年2月8日までの2年間となる。
採決	可決。

・議案第4号 平成28年度全国体力・運動能力、生活習慣等調査結果公表について

学校教育課長	<p>平成28年度全国体力・運動能力、生活習慣等調査結果公表について、説明する。</p> <p>全国体力・運動能力、生活習慣等調査については、平成20年度から実施されている。本市において、今年度小学校7校、中学校3校の全校が参加している。調査対象は小学校5年生と中学校2年生となっており、1学期に各校において実施した。</p> <p>今回の調査結果から高石市の子供の体格に関する傾向について、小学校については11ページに記載している。</p> <p>全国と比べた場合、男女の身長は少し上回っているが、女子の体重が少し下回っている状況である。</p> <p>続いて、中学校については、12ページである。</p> <p>全国と比べた場合、身長、体重においては男子が少し下回っており、女子は少し上回っている。</p> <p>実技に関して、13ページと14ページに小・中学校別、男女別にまとめているが、小学校においては、男子は総合評価のA、Bの合計の割合が全国、大阪府の割合を下回っている。女子はAの割合が全国を下回っているが、大阪府は上回っている。</p> <p>14ページの中学校であるが、総合評価におけるAとBの合計の割合が、男子は全国、大阪府より下回っており、女子についてはAの割合が全国より下回っているが、大阪府よりは上回っている。</p> <p>15ページの児童・生徒質問紙調査については、小学校の男子は、運動部所属の子供の割合が全国、大阪府より上回っており、女子は全国と同等である。また、男女ともに運動が好きと思っている児童の割合は全国、大阪府を下回っているところである。</p> <p>中学校の男子、女子ともに「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」の項目は、全国、大阪府より上回っている。</p> <p>15ページの下に記載しているが、今年度の調査結果全体から、運動能力の瞬発力、持久力については改善傾向があるが、全国と比べて差がある種目もあり、課題が残っているところである。平成26年度から、各</p>
--------	--

	<p>小・中学校で取り組んできた体力向上に向けての1校1実践について、さらに取り組んでいきたいと考えている。</p> <p>以上、この結果及び考察についてまとめたものについて、教育委員会ホームページにて公表を考えているので、承認いただきたい。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>体格や実技に関してはほぼ全国を上回ったり、下回ったりということで、大きく問題は無いと考える。体育の授業が楽しくないという子供が非常に多く、特に中学校で、体育の授業が楽しいと思わない子供たちが多いという、原因の分析はしているのか。</p>
学校教育課長	<p>この点については、非常に大きな課題であると考えている。既にこの質問紙調査の結果について校長会にも示し、体育の授業がどうなのか、校長先生みずからの手で確認いただく等、今後の体育の授業改善に向けて取り組む必要があると教育委員会として考えているが、分析等はまだまだ十分にできていない。</p>
西中委員長職務 代理者	<p>中学は特に女子が体育を嫌がることは全体的な傾向であるが、授業に引き込むことは可能であると考えてるので、楽しい体育の授業をキャッチフレーズにして、取り組んでいただきたい。</p>
吉村委員	<p>体格の面で気になることがある。小学校は特に問題ないと思うが、中学校では、女子の肥満度が少し府、全国より高い。これらは大体、男子より1、2年早く二次性徴を迎えて早く止まるので、中学校に入り身長が155ですから、今の日本の平均からしたら、あと四、五センチ伸びてとまるという時期である。</p> <p>女子は20センチほど背が伸びている時期にたくさん食べるという、その習慣がまだ背がとまりかかっている時期も残っているという結果だと考える。そのため、女子の肥満については、今後、注意深く見ていったほうがいいのではないかと思う。</p>
採決	可決。

・報告第1号 教育委員会の後援等に関する報告について

各課長	後援承認したものについて説明。
佐野委員長	承認する。

・報告第2号 教育委員会関係諸行事等の報告について

各課長	平成29年1月11日から平成29年2月7日までの行事について説明。
佐野委員長	承認する。

その他委員長が必要と認めた事項

各委員	意見なし。
佐野委員長	これで閉会とする。